



2016 - 2030 SDGs・持続可能な開発目標への貢献

Leaving no one behind



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs (Sustainable Development Goals・持続可能な開発目標)は、2015年9月国連サミットで決められた、国際社会共通の目標です。SDGsは**17の目標と169のターゲット(具体目標)**で構成されています。SDGsへの取り組みは社会・経済・環境の側面を持つため、企業ではESG(環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance))の課題を反映させるEGS投資を考慮する動きが広まりました。

大学でも「SDGsが共通言語」となり、基礎・応用研究、文理融合のように専門分野を超えた協働や産学官連携による地域創生などが促進されようとしています。

もちろん、SDGsは国や政府、企業・大学など組織だけが意識すべき目標ではなく、**私たち一人ひとりにも密接に関わっている問題**です。大学教育にも持続可能な社会実現・SDGs関連の授業や公開セミナーが増えてきました。みなさんのチャレンジを待っています！

THE University Impact Rankings 2019

総合ランキング(日本の大学)

順位	大学名	スコア
48	京都大学	84.2
52	東京大学	83.7
91	慶應義塾大学	76.6
101-200	千葉大学	64.6-75.6
101-200	北海道大学	64.6-75.6
101-200	金沢大学	64.6-75.6

世界大学インパクトランキング2019

大学の社会貢献をSDGsの枠組みで可視化

イギリスの高等教育専門誌Times Higher Education (THE) は4月3日、THE大学インパクトランキング2019を発表した。総合ランキングにランク付けされた**462大学**のうち9%にあたる**41大学が日本の大学で、総合ランキング上位は、京大、東大、慶応大、千葉大、北大と続く。**

大学の社会貢献の取り組みを国連のSDGs(エスディーズ)の枠組みを使って可視化したデータで、今回は**17目標のうち11について調査**され、目標別・総合の観点からランキングが示されました。



2014 - 2026 北大・近未来戦略 150



研究

様々な課題を解決する世界トップレベルの研究を推進

教育

国際社会の発展に寄与する指導的・中核的な人材を育成

社会連携

学外連携による知の発信と社会変革の提言

大学運営

総長のリーダーシップによる持続的な発展を見据えた大学運営

戦略広報

戦略的な広報活動により世界に存在感を示す大学へ

世界の課題解決に貢献

北海道大学は、**2026年に創設150年**を迎えます。この重要な節目を迎えるに当たり、本学は、社会において大学が果たすべき役割の重要性を深く認識し、「**世界の課題解決に貢献する北海道大学へ**」に向けて、建学以来の基本理念と長期目標を踏まえた大学改革を大胆かつ着実に進めることを2014年に決意し、2026年に至るまでの12年間における**具体的な改革戦略**を示しています。

2005-2007 - 2017 サステナビリティ・ウィーク



持続可能な社会の実現

北海道大学は、2005年に「**持続可能な開発国際戦略**」を策定し、2007～2017年に「**サステナビリティ・ウィーク(SW)**」を全学共通の枠組みとして開催してきました。2016年のSWでは「**SDGsに貢献する高等教育のあり方**」を主題とし、持続可能な社会の実現への取り組みについて対話を積み重ねました。

2017年以降、北大ならではの教育研究活動への取り組みや地域協働を展開しています。

2008年、主要国首脳会議「**G8北海道洞爺湖サミット**」(環境・気候変動への対応や**国連ミレニアム開発目標(MDGs, 2001-2015)**の達成が主要議題)に合わせ、札幌市内で世界初の試みとなる「**G8大学サミット**」に14カ国35大学が集い、グローバル・サステナビリティと大学の役割をテーマに議論し、「**札幌サステナビリティ宣言**」を採択しました。



理学部広報誌Web公開中



理学部は広報デジタル掲示板で「理学部SDGsチャンネル」を始めました



理学部 2号館 1F 玄関

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

